

**AMANO®**

焼却炉内清掃用集塵装置

P i A - 4 5

取扱説明書

# ■ 重要安全情報

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けております。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

**△警告**：誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**△注意**：誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が出るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ・傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- ・物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## ・ 絵表示の例



爆発注意

△記号は警告や注意を示します。  
具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。  
具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



フラグを抜く

●記号は必ずやることで、強制する行為を示します。  
具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

# はじめに

このたびは、焼却炉内清掃用集塵機 P i A - 4 5 をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本機を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書をお使いになる前に必ずお読みください。また、お読みになった後は、いつでも使えるように大切に保管してください。

■下記の使用による事故、故障等は責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・間違った操作方法をした場合。
- ・仕様を越えた操作および、不適切な管理方法をとっていた場合。
- ・改造を加えて使用していた場合。
- ・天災、火災等による場合。
- ・その他外部的理由による場合。

■お願い

お手数ですが、同封のご愛用者カードに所定事項を記入していただき、控えをご購入の販売店にお渡しください。アマノご愛用者リストに登録し、より良いアフターサービスが行えるようにしたいと存じます。

- 本製品および取扱説明書にご不明な点がございましたら、弊社支店・営業所にお問い合わせください。
- 製品改良のため、仕様・外形・記載事項が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 警告ラベルが、はがれそうになったときは、弊社支店・営業所に連絡して新しいものと取り替えてください。

## 目次

1. 安全にお使いいただくために .....	1
2. 構造と各部の名称 .....	3
3. 運転準備 .....	5
4. 運転・停止 .....	9
5. 保守 .....	12
6. 消耗品 .....	18
7. こんなときには .....	18
8. 定期点検表 .....	19
9. 外観図 .....	20
10. 配線図 .....	21
11. アフターサービスと保証 .....	22

# 1. 安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みいただき、理解してください。

## ⚠警告



爆発注意

- ・ 次の物質は吸引しないこと。
    - ・ 爆発性物質……………アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ、有機溶剤等。
    - ・ 引火性物質……………ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など。
    - ・ 火花を含んだ粉塵…高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生するもの。
    - ・ 火種……………たばこの吸いがら、灰など。
    - ・ 粘着性物質……………水溶性ミスト、オイルミストなど。
    - ・ その他……………水、油、薬品などの液体。
- 引火、爆発のおそれがあります。



爆発注意

- ・ 引火性、爆発性、腐食性物質の霧・煙（ヒューム）・ガスが滞留しているところや、これらの付近で使用しないこと。
- 引火、爆発のおそれがあります。



定格電圧外禁止

- ・ 製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。またタコ足配線をしないこと。
- 火災、感電のおそれがあります。



濡れた手禁止

- ・ 濡れた手で電源を接続、取りはずしをしないこと。
- 引火、爆発のおそれがあります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- ・ この機器を改造しないこと。
- 事故、火災、感電のおそれがあります。



アースを接続

- ・ アースを接続すること。  
アースを接続しないで漏電すると、火災・感電のおそれがあり、また静電気等で機器の故障及び誤作動の要因につながるおそれがあります。



行動指示

- ・ 内部で火災や粉塵爆発が発生した場合は、以下の行動をとること。
    - ・ ただちに電源を切ること。
    - ・ 集塵物に適した消火剤を使用すること。
    - ・ 鎮火し、内部温度が常温に下がるまで扉を開けないこと。
- 守らない場合は二次爆発のおそれがあります。



行動指示

- ・ 集塵機の内外面・配管内に粉塵が堆積しないように定期的に清掃すること。  
着火源が入った場合、火災のおそれがあります。



行動指示

- ・ 回収した粉塵は毎日排出し、本体内部に堆積させないこと。  
機能低下及び、着火源が入った場合、火災のおそれがあります。

## ⚠注意



注意

- ・フィルター点検蓋の脱着の際は、落下に注意すること。  
けがのおそれがあります。



注意

- ・点検やフィルター及び部品の交換の際は、保護具（手袋・防塵マスク・防塵メガネ・防塵服など）を使用のこと。  
けがのおそれがあります。



吸引口ふさぐな

- ・吸引口をふさいだまま運転しないこと。  
過熱により、発火の原因となります。



電源を切る

- ・運転中に異音、発煙、異常振動、過熱、異臭が発生した場合は、ただちに本機電源供給元を切ること。  
そのまま使用すると故障、感電、火災のおそれがあります。



電源を切る

- ・運転中にモーターが停止したときは、ただちに本機電源供給元を切ること。  
感電のおそれがあります。



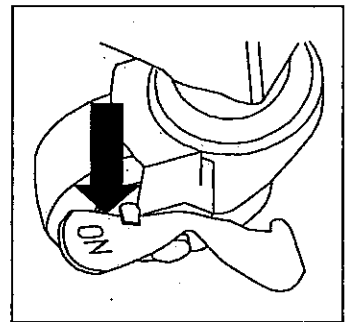
電源を切る

- ・点検、メンテナンスをするときは、必ず本機電源供給元を切ること。  
感電のおそれがあります。

## ■設置上のご注意

次の条件を守って設置してください。守らない場合は製品が故障したり、性能が発揮できなくなったり、事故につながるおそれがあります。

- ・強い振動や衝撃を受けないところに設置してください。
- ・平たんな場所の設置し、キャスターのストッパーは必ず固定してください。
- ・本機は、3相電源を使用します。周波数は50Hz/60Hz共有です。（ただし、インバーターで60Hzに変換して、モーターには60Hzの電源が供給されます。）
- ・移動の際は、本体に搬送用として取り付けられた溝型鋼を利用し、フォークリフトで搬送してください。
- ・感電防止のため、電源コードのアース線は必ずアースに接続してください。アースは『D種接地工事』の条件を満たしてください。
- ・接続ダクトホースは、漏れたり、はずれたりしないようにしっかりと接続してください。接続箇所は、ホースバンドなどで固定してください。
- ・本機を重ねられるのは、2段までです。3段以上は重ねないでください。また2段重ねるときは、キャスターに荷重がかからない様にしてください。

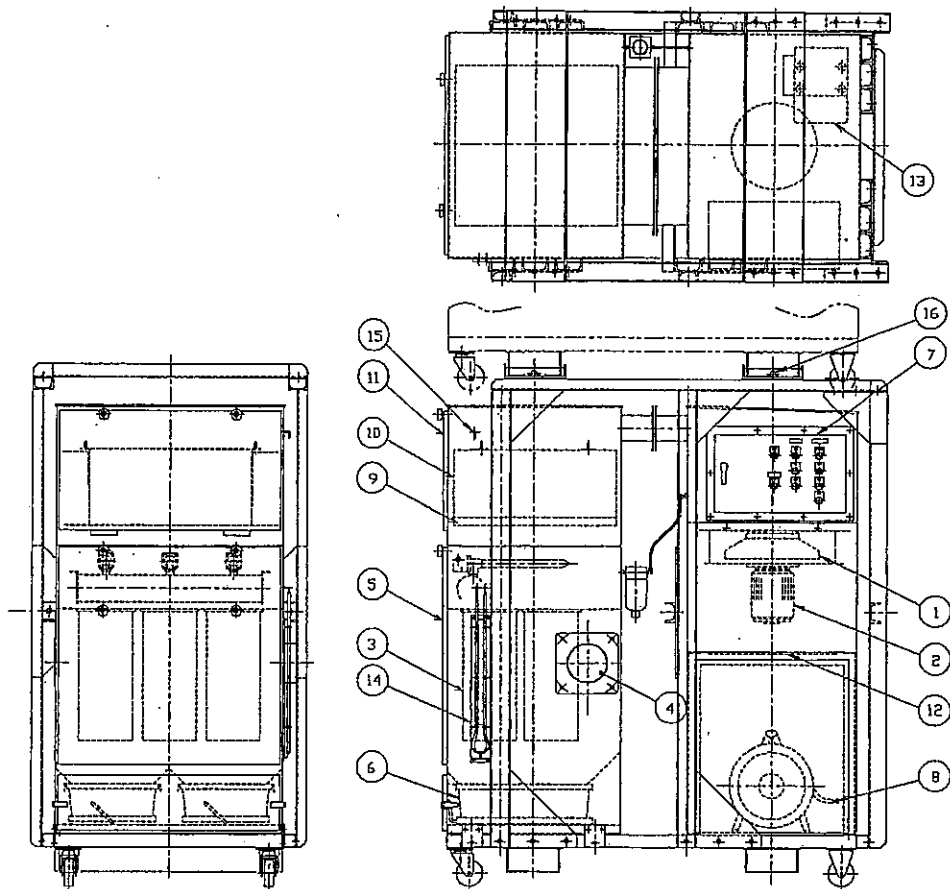


## ■インバーターについて

- ・本機の制御盤にはインバーターを採用しております。このインバーターの目的は電源が50Hz/60Hzのいずれにおいても使用できるように、2次側電源を常に60Hzで運転するために組み込まれています。インバーターの取り扱いについては、付属のインバーターの取扱説明書をご覧ください。（インバーターの最高周波数の設定は60Hz以上に設定しない様にしてください。故障の原因となります。）

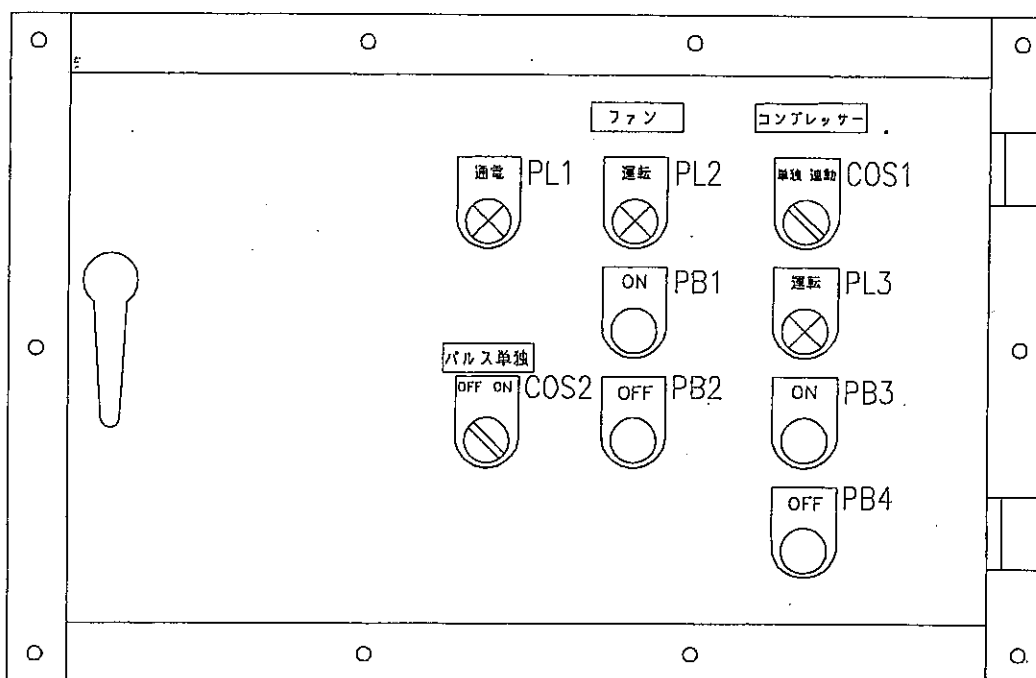
## 2. 構造と各部の名称

### 本体部



番号	名称	仕様
1	ファン	ターボファン
2	モーター	3相200V 2.2kW 2P 全閉たてフランジ型
3	プレフィルター	成型カートリッジタイプ 13.5m <sup>2</sup> (6本) 材質: ポリエステルスパンボンド
4	吸込口	口径φ150 (反対側目隠し板付)
5	フィルター点検蓋	
6	バケツ	容量: 18ℓx2 , ダストバック式
7	電装箱	
8	電源コード	VCT 4芯 5.5mm <sup>2</sup> 17m(プラグなし)
9	チャコールフィルター	□610x50
10	HEPAフィルター	□610x290
11	フィルター点検蓋	
12	排気口	
13	コンプレッサー	3相200V 0.4kW 4P
14	マンメーター	
15	マンメータープラグ	
16	吊りフック	4ヶ所

# 制御盤



番号	名称		はたらき
PL1	通電ランプ		電源通電時に点灯します。
COS2	パルス単独スイッチ		このスイッチをONにすると、フィルター付着粉塵の払い落としをおこないます。払い落としはONにしている間おこないます。
PL2	ファン表示部	ファン運転ランプ	ファン運転時に点灯します。
PB1		「ON」押しボタンスイッチ	集塵機ファンの運転スイッチです。
PB2		「OFF」押しボタンスイッチ	集塵機ファンの停止スイッチです。
COS1	コンプレッサー表示部	運転モード 切換スイッチ	コンプレッサーの運転モードを単独と連動に切り換えます。 連動では、ファンが運転を開始すると、それに連動してコンプレッサーも運転を開始します。 単独では、ファンの運転状態に関係なくPB3・PB4の押しボタンスイッチで操作できます。
PL3		運転ランプ	コンプレッサーの運転にランプが点灯します。
PB3		「ON」押しボタン スイッチ	運転モードが単独の場合に有効なコンプレッサーの運転スイッチです。
PB4		「OFF」押しボタン スイッチ	運転モードが単独の場合に有効なコンプレッサーの停止スイッチです。

### 3. 運転準備

#### ⚠ 警告



定格電圧外禁止

- ・製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。またタコ足配線をしないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



濡れた手禁止

- ・濡れた手で電源を接続、取りはずしをしないこと。  
引火、爆発のおそれがあります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

- ・この機器を改造しないこと。  
事故、火災、感電のおそれがあります。



アースを接続

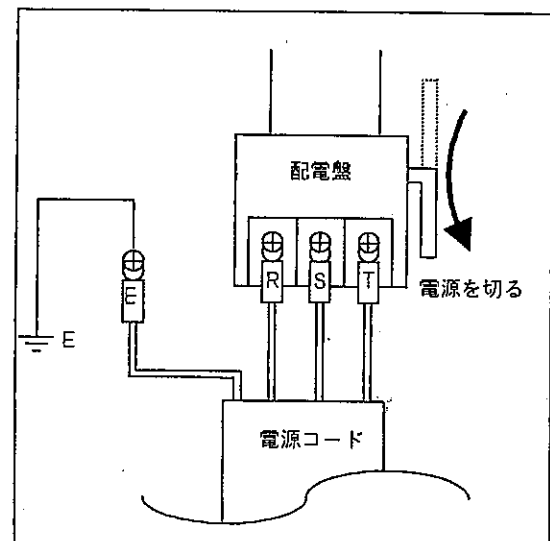
- ・アースを接続すること。  
アースを接続しないで漏電すると、火災・感電のおそれがあり、また静電気等で機器の故障及び誤作動の要因につながるおそれがあります。

### ◆電源の接続

#### ご注意

- ・電源コードを下記の手順で三相電源に接続します。本機は50Hz/60Hz共有です。
- ・アース工事は『D種接地工事』の条件を満たしてください。既設のアースを利用する場合は、アース性能が十分あることを確認してください。
- ・配線は電気工事有資格者がおこなってください。

- ① 本機の銘板に記載された電源の仕様と、接続しようとしている電源の仕様が、一致していることを確認してください。
- ② 感電を防止するため、配電盤の電源を切ってください。
- ③ 電源コード4本のうち、アース線（緑）の端子を配電盤のアース端子にネジ止めします。アースが『D種接地工事』の条件を満たして設置されていることを確認してください。
- ④ アース線以外の電源コード（R・S・T）の端子を配電盤の端子台にしっかりとネジ止めします。
- ⑤ 上記の①～④を再度確認し、配電盤の電源を投入します。





## ◆ マノメーターの準備

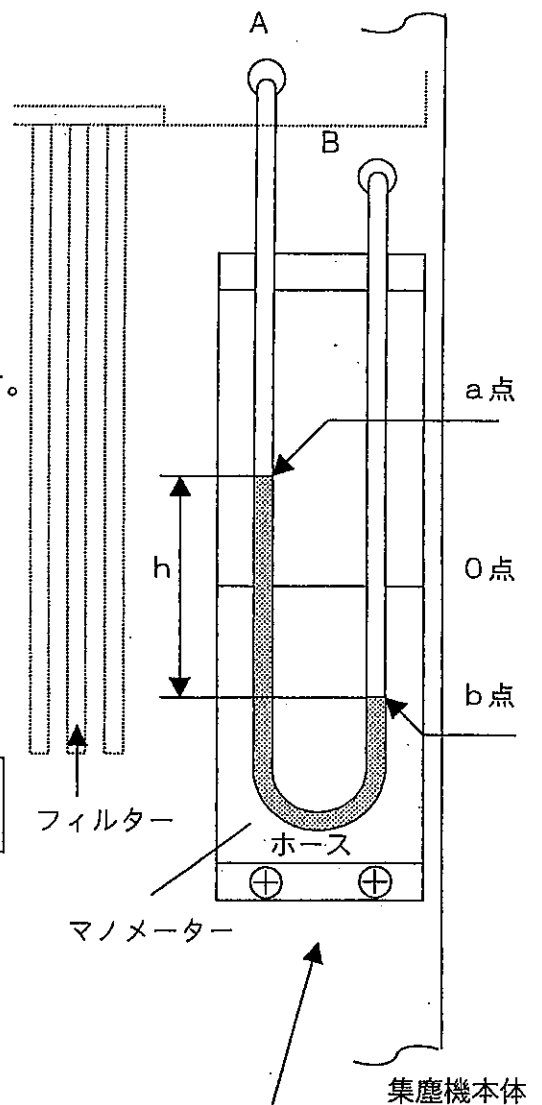
### 使用方法

- ① 本体に接続しているマノメーターのホースを、差込みプラグA、またはBのどちらか一方をはずします。
- ② はずしたホースの端から、ホースの中に水を少しずつ入れます。水は静止した時に、マノメーターの目盛りが0点で安定するように調整してください。気泡がある場合は、測定誤差が生じますので、ホースを振りながら気泡を押し出してください。
- ③ はずしたホースを差込みプラグにしっかりと接続します。
- ④ 集塵機を作動させると、a点側の水位が上昇し、b点側の水位が下降します。この時 両点の水位の差hを目盛りで測定すると、a b両点の圧力差が解ります。a点側はフィルター通過後の静圧（負圧）、b点側はフィルター通過前の静圧（負圧）を受けており、水位の差はフィルターの圧力損失を表します。  
例えば、 $h = 51\text{mm}$ の値であれば、 $500\text{Pa}$ であることがわかります。（ $1\text{mm} = 9.806\text{Pa}$ ）

集塵機のフィルターの目詰まりは、マノメーターのhを測定することで判断できます。

- ⑤ フィルター除塵装置を作動させると集塵機の性能は再び回復し、hの値はほぼ最初の状態に回復します。フィルターの除塵作動のインターバルは、マノメーターで測定したフィルターの目詰まり具合に応じて設定してください。

\* 除塵装置を作動させても、マノメーターの値が下がらない時は、フィルターの寿命となりますので、弊社支店・営業所またはご購入先の販売店までご連絡ください。

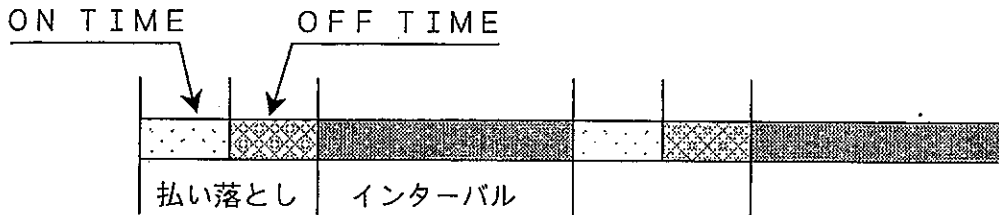


## ◆パルス基板の設定

### ご注意

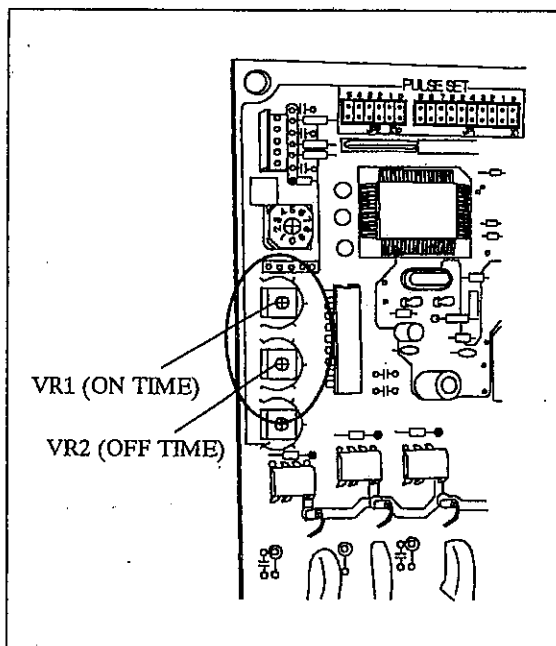
- パルス基板設定の際は、必ず電源供給元（1次電源）を切ってください。
- 指定以外の場所には触れないでください。

本機はフィルターに付着した粉塵を払い落とすため、圧縮空気を定期的にフィルター内部に送り込むパルスジェットをおこないます。下記の手順に従って、制御盤の内部にあるパルス基板で、ON OFF TIMEとインターバルを設定してください。

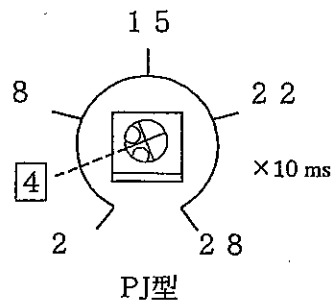


ON TIME : 圧縮空気を送り込む時間  
 OFF TIME : 圧縮空気の送り込みを停止する。  
 インターバル : フィルター払い落とし動作の間隔

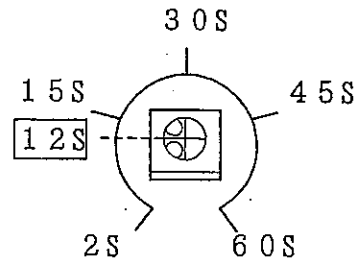
## ON OFF TIME の設定法



VR1によりON TIMEの設定を行います。  
 設定時間は下記のように可変できます。  
 PJ型仕様 20~280ms

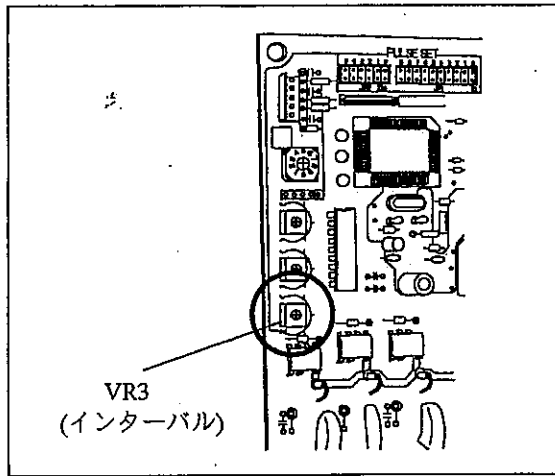


VR2によりOFF TIMEの設定を行います。  
 設定時間は2~60sまで可変できます。

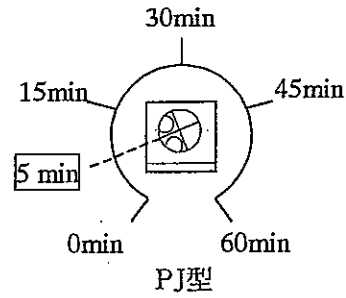


ON TIME : 4.0 msec OFF TIME : 1.2 Sにしてください。

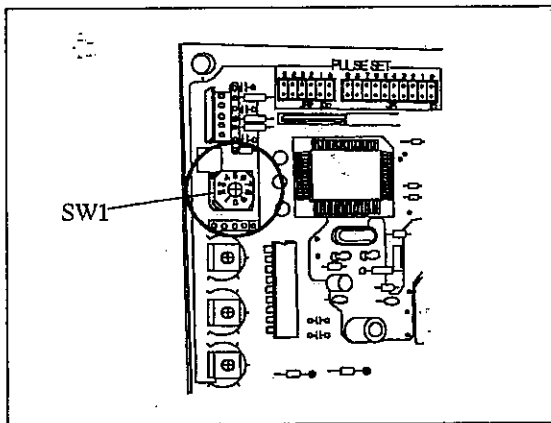
## インターバルの設定法



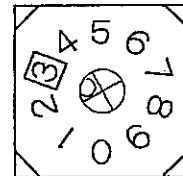
粉塵量が少なく、フィルター負荷が軽微な場合、パルスサイクル間隔（1サイクル目から2サイクル目の間隔）を広げることができます。必要に応じて設定してください。工場出荷時は0min設定です。



## エンドパルスの設定法



運転中のパルスジェットとは別に、集塵機の運転終了時にもパルスジェットを行うことができます。



例：運転終了時3回のパルスに設定

## 4. 運転・停止

### ⚠警告



爆発注意

- ・ 次の物質は吸引しないこと。
    - ・ 爆発性物質……アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ、有機溶剤等。
    - ・ 引火性物質……ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など。
    - ・ 火花を含んだ粉塵…高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生するもの。
    - ・ 火種……たばこの吸いながら、灰など。
    - ・ 粘着性物質……水溶性ミスト、オイルミストなど。
    - ・ その他……水、油、薬品などの液体。
- 引火、爆発のおそれがあります。



爆発注意

- ・ 引火性、爆発性、腐食性物質の霧・煙（ヒューム）・ガスが滞留しているところや、これらの付近で使用しないこと。
- 引火、爆発のおそれがあります。



行動指示

- ・ 内部で火災や粉塵爆発が発生した場合は、以下の行動をとること。
    - ・ ただちに電源を切ること。
    - ・ 集塵物に適した消火剤を使用すること。
    - ・ 鎮火し、内部温度が常温に下がるまで扉を開けないこと。
- 守らない場合は二次爆発のおそれがあります。

### ⚠注意



吸引口ふさぐな

- ・ 吸引口をふさいだまま運転しないこと。
- 過熱により、発火の原因となります。



電源を切る

- ・ 運転中に異音、発煙、異常振動、過熱、異臭が発生した場合は、ただちに本機電源供給元を切ること。
- そのまま使用すると故障、感電、火災のおそれがあります。



電源を切る

- ・ 運転中にモーターが停止したときは、ただちに本機電源供給元を切ること。
- 感電のおそれがあります。

運転を始める前に次の点検をおこなってください。

- ・ 各点検扉を開いて、それぞれのフィルターの取り付けが正しく取り付けられているか点検してください。
- ・ バケット部の密閉状態を点検してください。
- ・ 吸込みダクトホースが正しく接続されているか点検してください。

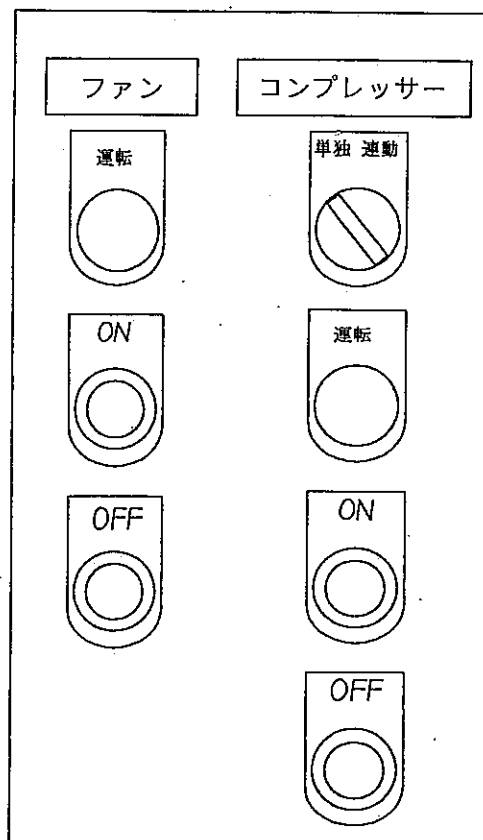
### (1) 運転・停止

- ① 運転は、コンプレッサーの運転モードが連動になっていることを確認して、ファンの **ON** 押しボタンスイッチを押します。
- ② 停止は、ファンの **OFF** 押しボタンスイッチを押します。

### (2) コンプレッサーの単独運転

コンプレッサーは、フィルター付着粉塵の払い落としをおこなうために、圧縮空気を供給します。コンプレッサーの運転モードが連動になっている場合は、ファンの運転と連動します。運転モードが単独になっている場合は、ファンの運転とは別に、コンプレッサーの運転をおこないます。

- ① コンプレッサーの運転モードが単独になっていることを確認して、コンプレッサーの **ON** 押しボタンスイッチを押します。
- ② 停止は、コンプレッサーの **OFF** 押しボタンスイッチを押します。

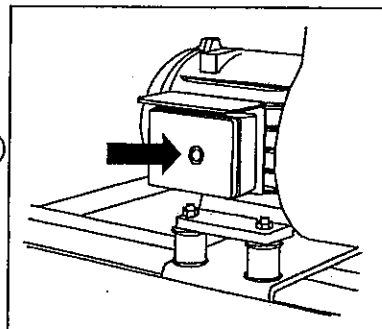


### (3) コンプレッサのサーマルプロテクターと電磁開閉器のリセット

運転に負荷がかかると、運転を自動停止することがあります。その場合は、一次電源（電源供給元）を切って過負荷の原因を取り除いてから、コンプレッサのサーマルプロテクターまたは、電磁開閉器をリセットしてください。

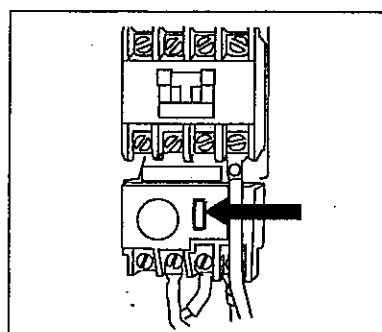
#### ◆コンプレッサのサーマルプロテクターリセット：

制御盤側ユニットの天井を開けてプロテクターの押しボタンスイッチを押してください。  
(詳細はコンプレッサの取扱説明書をご覧ください。)



#### ◆電磁開閉器のリセット：

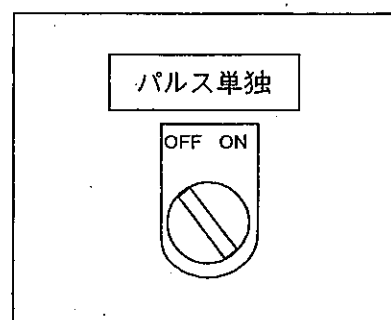
制御盤を開けて押しボタンスイッチを押してください。



### (4) フィルター付着粉塵の払い落とし

フィルター付着粉塵の払い落としは、運転中に自動的に起こります。エンドパルスを設定している場合は、運転終了時にも起こります。

手動操作による払い落としは、制御盤の「パルス単独」スイッチでおこないます。この払い落としは、スイッチがONの間継続します。



## 5. 保守

### ⚠注意



注意

- ・フィルター点検蓋の脱着の際は、落下に注意すること。  
けがのおそれがあります。



注意

- ・点検やフィルター及び部品の交換の際は、保護具（手袋・防塵マスク・防塵メガネ・防塵服など）を使用のこと。  
けがのおそれがあります。



行動指示

- ・集塵機の内外面・配管内に粉塵が堆積しないように定期的に清掃すること。  
着火源が入った場合、火災のおそれがあります。



行動指示

- ・回収した粉塵は毎日排出し、本体内部に堆積させないこと。  
機能低下及び、着火源が入った場合、火災のおそれがあります。



電源を切る

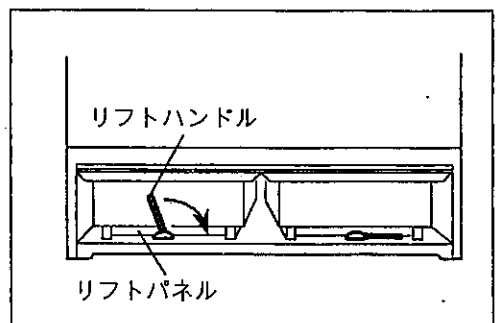
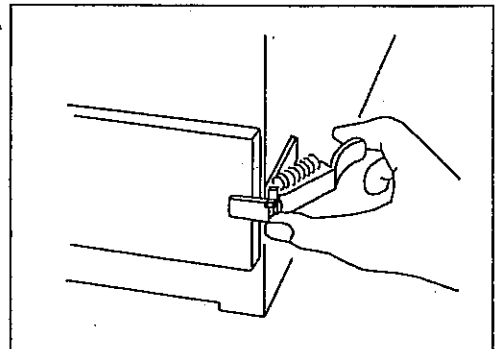
- ・点検、メンテナンスをするときは、必ず本機電源供給元を切ること。  
感電のおそれがあります。

### ◆ バケット内の粉塵排出

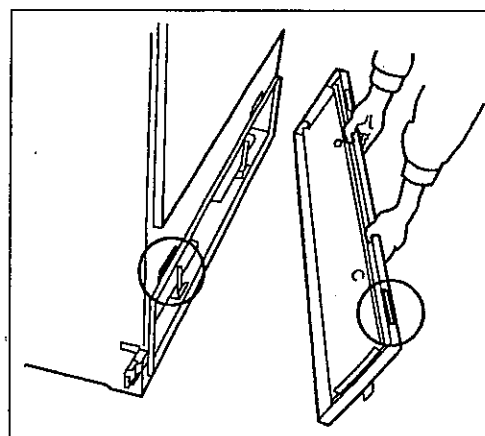
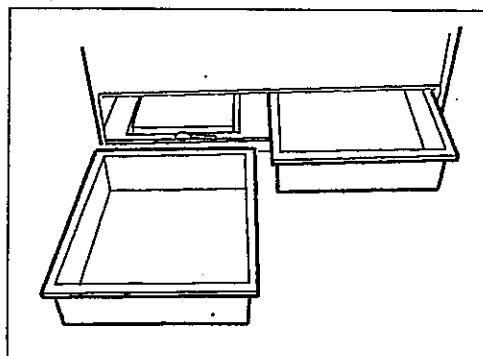
バケット内の粉塵の排出は、運転を停止して内部で飛散している粉塵が落ち着くまで、数分間待ってください。エンドパルスが設定してある場合は、エンドパルスの動作が終了してからおこなってください。

#### (1) バケット内の粉塵排出方法

- ① 運転を終了し、モーターが停止したことを確認してください。
- ② バケット蓋の左右にあるキャッチクリップをはずしてください。
- ③ バケットリフトハンドルを右側に倒してください。



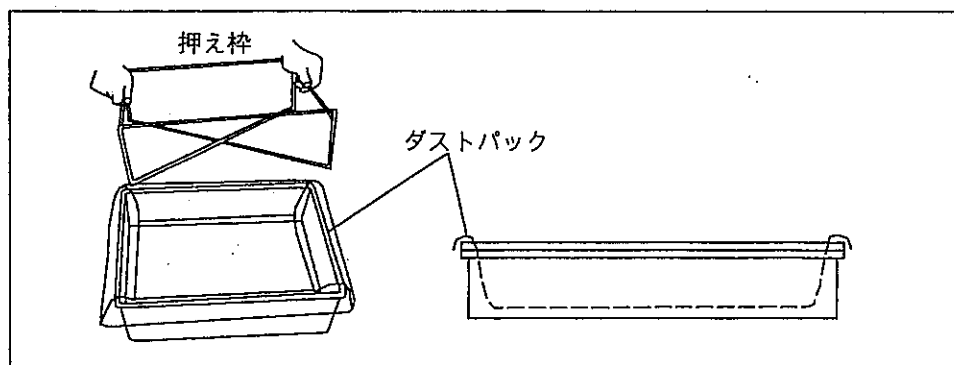
- ④ バケツを手前に引き出します。
- ⑤ 粉塵を排出してください。
- ⑥ バケツをリフトパネルにのせて、奥のストッパーにあたるまで押し込みます。
- ⑦ バケツリフトハンドルを左に回し起こしてください。
- ⑧ 本体のバケツ蓋受部にバケツ蓋上部の穴を入れてください。
- ⑨ バケツ蓋を本体に押し付け、キャッチクリップで固定してください。



## (2) ダストパックの取り扱い

粉塵の二次飛散を防止し、より衛生的に処理するためにダストパックを用意しています。

ダストパックは、下図のようにバケツの内側にセットして、押え枠で固定してください。また、排出時はダストパックの口を結んで廃棄してください。





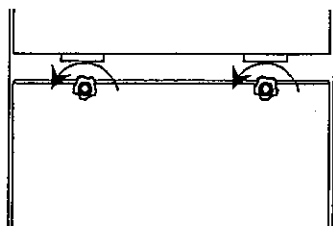
## ◆ フィルター部の保守

### (1) フィルターの取りはずしと取り付け方法

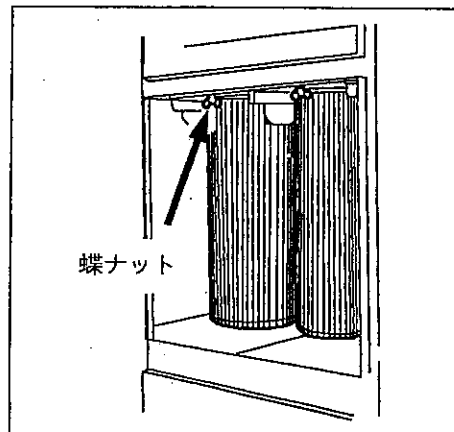
フィルターは定期的（1年～1.5年）に交換してください。

フィルターの取りはずし・取り付けは、以下の手順でおこなってください。

- ① フィルター点検蓋を取りはずします。

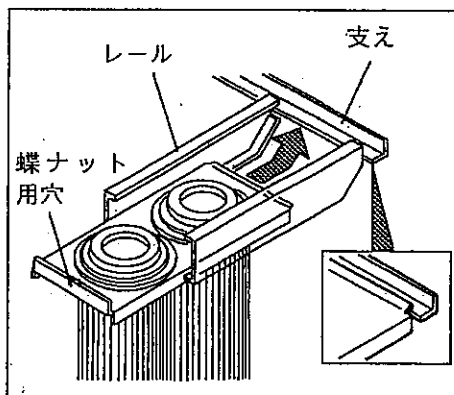


- ② 蝶ナットをはずし、本体内側のレールを利用してフィルター枠とフィルターを手前に引き出してください。



- ③ フィルター枠から古いフィルターを取りはずして、新しいフィルターを取り付けます。

- ④ フィルター枠の蝶ナット用の穴を手前（点検扉側）にして、本体のレールを利用してフィルター枠を奥へ押し込みます。



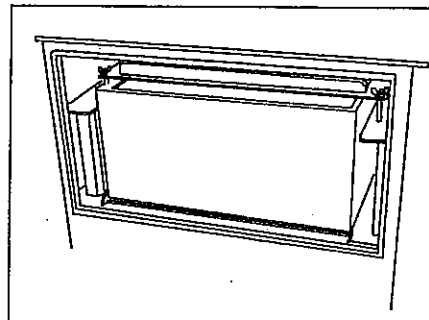
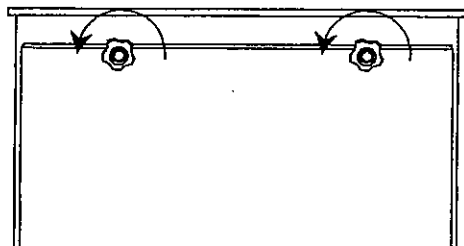
- ⑤ フィルター枠の端を本体奥側の支えに引っ掛けて、蝶ナットで固定します。このときフィルター上部のパッキンがしっかり押さえつけられるように固定してください。

## (2) HEPAフィルターの取りはずしと取り付け方法

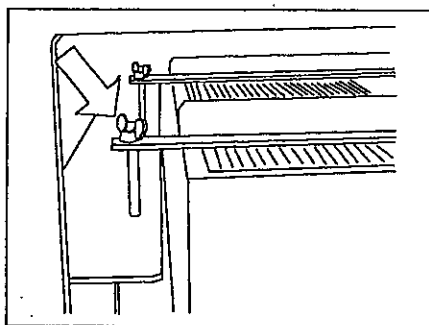
HEPAフィルターは圧力損失をマンメーターで確認し、500Pa以上になった場合は交換してください。

フィルターの取りはずし・取り付けは、以下の手順でおこなってください。

- ① HEPAフィルター点検蓋を取りはずします。



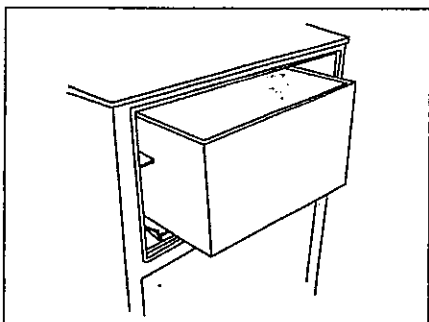
- ② フィルター押さえ板を止めている蝶ナットをゆるめてはずしてください。



- ③ フィルター押さえ板を取りはずします。

- ④ 古いフィルターを新しいフィルターに交換してください。

- ⑤ 取り付けは、上記の逆の手順にて取り付けます。



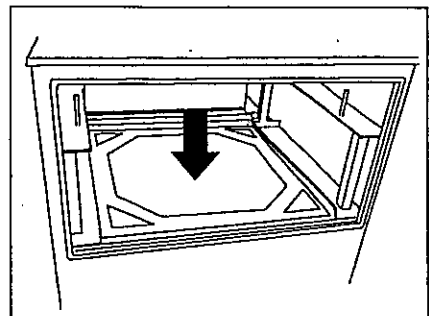
## (3) チャコールフィルターの取りはずしと取り付け方法

チャコールフィルターは定期的(1~2ヶ月)に交換してください。交換時期は使用状況により異なります。

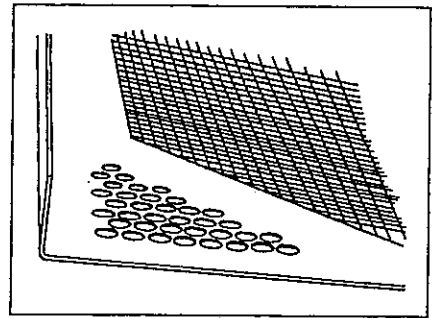
交換の際は、安全のため、保護具(手袋など)を着用し、必ず電源を切ってください。

フィルターの取りはずし・取り付けは、以下の手順でおこなってください。

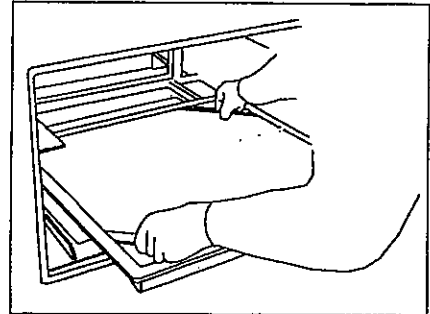
- ① HEPAフィルターを取りはずします。  
(上記参照)



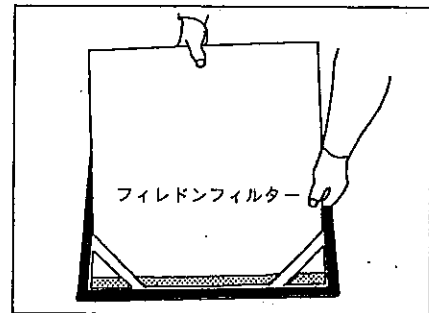
- ② チャコールフィルター枠の上にあるフィルター押さえを取り出します。



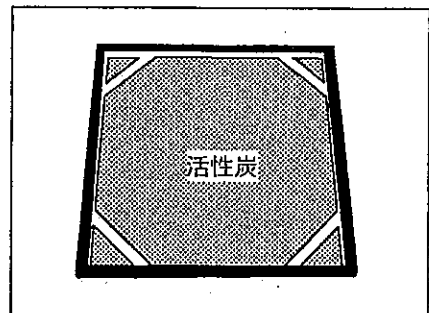
- ③ チャコールフィルター枠の取っ手を持って、フィルター枠を持ち上げ、手前に引き出します。



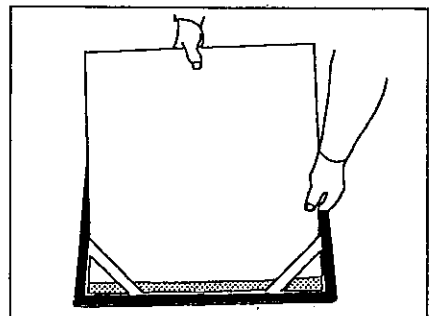
- ④ フィレドンフィルターを取り除き、中の古くなった活性炭をビニール袋などにあけます。



- ⑤ 新しい活性炭を片寄ることなく、平たんに敷き詰めます。(十分に敷き詰めてください。)



- ⑥ フィレドンフィルターを元通りに上にかぶせます。  
⑦ チャコールフィルター枠を本体の穴に落とし込みます。  
⑧ 上からフィルター押さえを取り付けます。

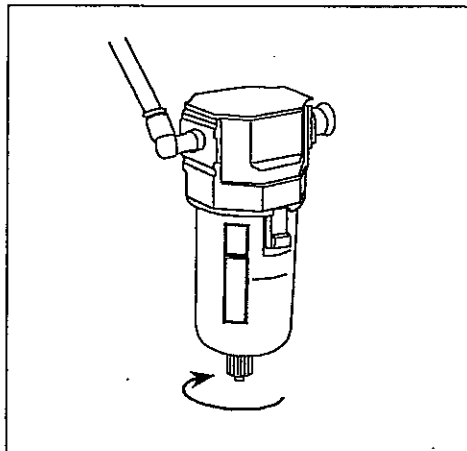


## ◆ 払い落とし部の保守

### (1) エアフィルターへのドレン抜き

エアフィルターに溜まった水を抜いてください。溜まる量は使用条件により異なりますので、窓から量を確認し、定期的に排水してください。

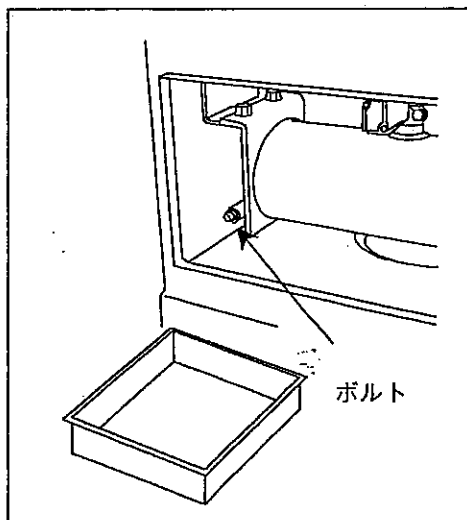
エアフィルター下部のツマミを左に回して排水します。このとき圧縮エアーの圧力でドレンが飛び散る場合がありますので、ご注意ください。



### (2) ヘッダーパイプへのドレン抜き

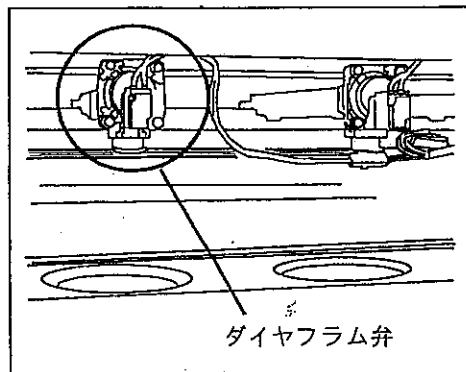
ヘッダーパイプのドレン抜きは通常、週に1度、圧縮エアーの供給を停止して次の要領でおこなってください。

フィルター点検蓋をはずします。ヘッダーパイプのボルトをはずして排水します。受皿などを用意してください。



### (3) ダイヤフラム弁 (6 Aパイロット弁付き) の保守

- ダイヤフラム弁のメンテナンスは、1年に1～2回位おこなってください。
- ダイヤフラムは、1年に1回程度の定期交換をおすすめします。
- 詳しくは、お買い求めの販売店または弊社支店・営業所までお問い合わせください。



## 6. 消耗品

名称	部品番号	備考
フィルター	PIB-210007	パッキン付き
HEPAフィルター	PIC-5340	パッキン付き
活性炭	YZ-130173	ZX-4 (円柱状)
電磁弁付きダイヤフラム弁	PIP-31205	AC200V
ダイヤフラムパッキン	CWE-1305	交換ゴム部品
フィルターエレメント	-	CKD、F4000用

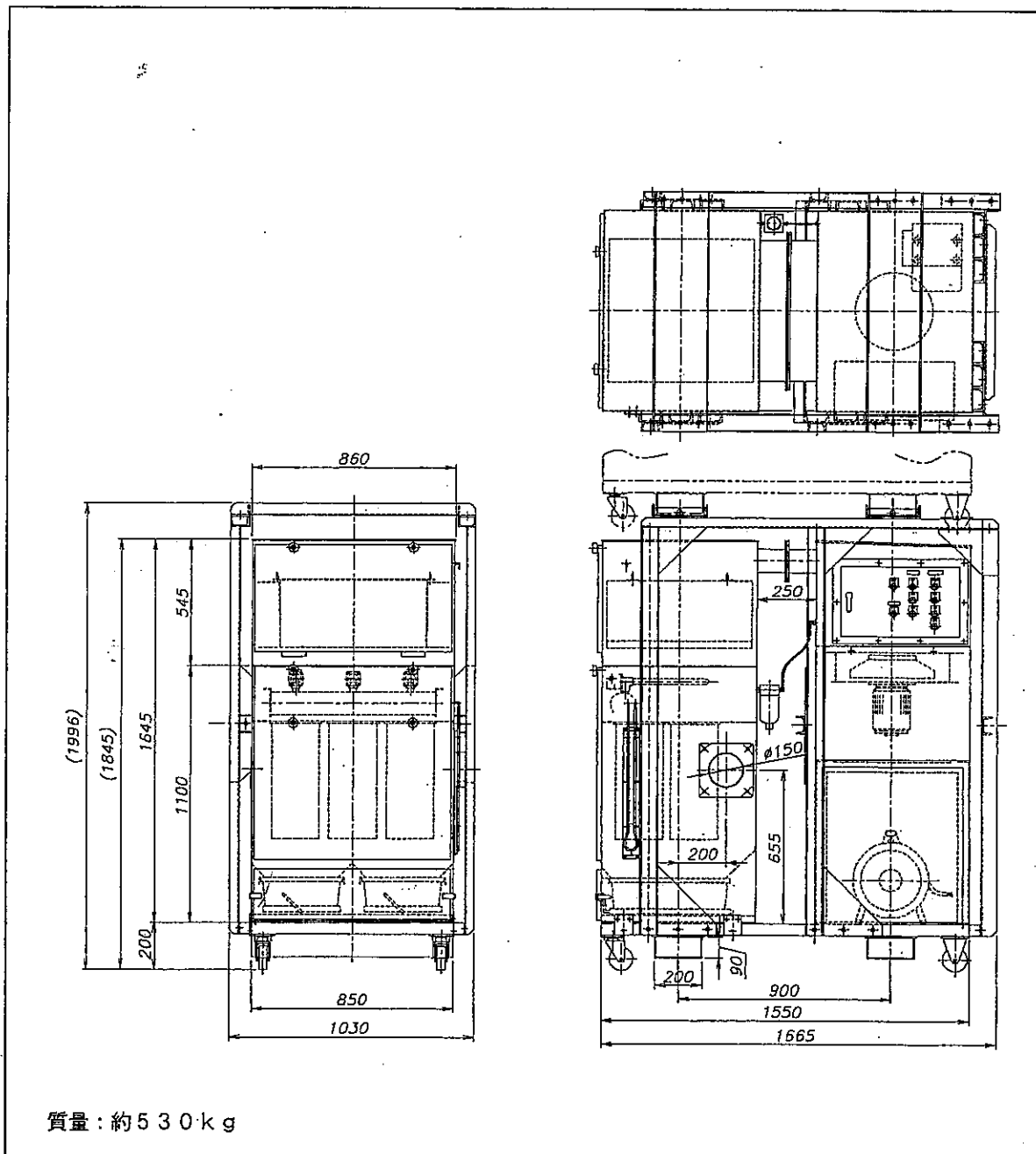
## 7. こんなときには

現象	原因	対策
スイッチを入れても始動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが接続されていない。</li> <li>電源コードの断線。</li> <li>停電している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードを接続する。</li> <li>電源コードを交換する。</li> <li>復電するまで待つ。</li> </ul>
ブーンとうなり音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードの断線により、単相運転をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードを交換する。</li> </ul>
運転中、突然停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバーターの異常。</li> <li>停電している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバーターの取扱説明書の指示に従ってください。</li> <li>復電するまで待つ。</li> </ul>
吸引力が弱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターの寿命。</li> <li>バケットのゴミが満杯になっている。</li> <li>吸引口、ホースの目詰まり。</li> <li>点検蓋、バケットが開いている。</li> <li>パルスジェットの動作不良によるフィルター目詰まり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターを交換する。</li> <li>バケットのゴミを捨てる。</li> <li>目詰まりを取り除く。</li> <li>点検蓋、バケットを正しく取り付ける。</li> <li>コンプレッサーの点検</li> </ul>
排気口から粉塵がもれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターの破損</li> <li>フィルターの取り付け不良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターを交換する</li> <li>フィルターをしっかりと固定する。</li> </ul>
振動、異音、異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>モーター、ファンの異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弊社までご連絡ください。</li> </ul>

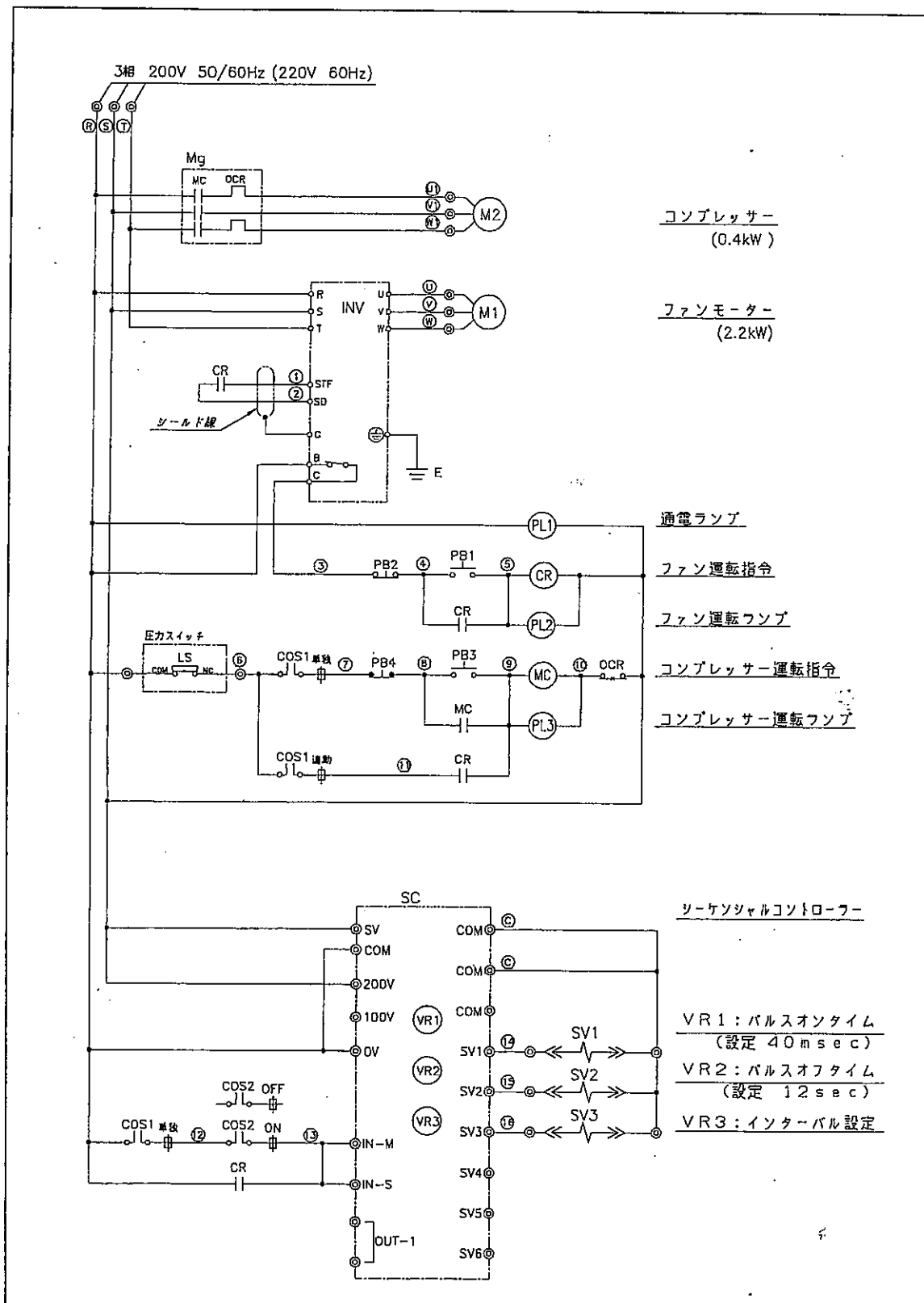
## 8. 定期点検表

点検箇所	点検の周期				方法・内容
	毎日	1週間毎	1ヶ月毎	1年毎	
フード・接続管 ダクト/ホース		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>取付け状態を点検する。不良があるときは正しく取付ける。</li> <li>破損・変形の有無を点検する。必要に応じて修理・交換をする。</li> <li>ダクト/ホースの内部やフードの粉塵堆積の有無を点検する。粉塵堆積がある場合は、粉塵の除去及び堆積を防ぐように配管を調節する。</li> </ul>
フィルター		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>点検扉を開けて取付け状態を点検する。取付け不良があるときは正しく取付ける。</li> <li>点検扉を開けて破損の有無・汚れ具合を点検する。破損がある場合やフィルターの払い落としをしても粉塵が落ちない場合は交換する。</li> </ul>
電源コード			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードの劣化、破損、取付状態を点検する。被覆が破けて芯線が出ているときは、使用を中止し、交換する。</li> <li>電源プラグの破損、変形を点検する。</li> </ul>
エアーフィルター		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ドレン抜きをする。</li> </ul>
ヘッダーパイプ		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ドレン抜きをする。</li> </ul>
ダイヤフラム弁				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年に1～2回程度交換する。</li> </ul>
排気の粉塵もれ	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>排気から粉塵がもれていないか点検する。粉塵もれがあればフィルターの取付け状態を点検・交換する。</li> </ul>
モーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～3年毎に保守点検が必要です。弊社支店・営業所にご連絡ください。</li> </ul>				

# 9. 外観図



# 10. 配線図





# 1.1. アフターサービスと保証

## ■ 使用中異常が生じたとき

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえで点検していただき、回復しない場合は、ご自分で修理なさらずに、お買い求めの販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

## ■ 保証について

- ・この製品は保証書付きです。
- ・保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- ・保証期間はお買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料修理になることもありますので保証書をよくお読みください。
- ・保証期間経過後の修理については、販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の希望により有料修理いたします。
- ・不明な点はお買い求めの販売店または弊社支店・営業所にお問い合わせください。

## ■ 部品の保有期間について

集塵機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後、6年です。

(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。)

性能を維持し、長く安全にご使用いただくために、交換部品はアマノ純正部品をご使用ください。



**アマノ株式会社**

本社/〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

TEL. (045)401-1441(代表) FAX. (045)439-1150

<http://www.amano.co.jp/>

TIME & ECOLOGY  
**AMANO.**

**タイム情報システム事業**

- 就業情報ターミナル装置
- 就業情報システム
- 給与計算/人事情報システム
- 食堂情報/入室情報システム 他

**タイムマネジメント商品事業**

- タイムカード集計ソフト [Time P@CK]
- インターネット給与計算サービス
- 電子タイムレコーダー/集計タイムレコーダー
- タイムスタンプ/ナンバリングマシン 他

**パーキング事業**

- 自動料金精算システム
- 集中管理システム/駐車場管理ソフト
- 車両認識システム/場内管制システム
- インターネット駐車場情報サービス 他

**エコロジー事業**

- 生ゴミ減量処理装置
- 電解水除菌/洗浄システム
- オゾン脱臭/除菌システム
- 高温有害ガス除去システム 他

**環境事業**

- 産業用掃除機
- 汎用電子集塵装置
- ヒューム/オイルミストコレクター
- 大型/中型集塵/脱臭システム
- 粉粒体空気輸送システム/テストプラント
- 環境分析システム 他

**クリーンシステム事業**

- 業務用掃除機
- 自走式清掃機
- 自動床面洗浄機
- 高速バフイングマシン
- ドライケアフロアクリンリネシステム
- 清掃ケミカル用品・清掃用品 他

**ヘルスケア商品事業**

- 介護リフト用吊り具
- 移動移乗・体位交換シート/移乗ボード
- 移動介助車/介護クッション
- その他の介護補助用品

WAK 102921 (09)  
T8608A A.5-2001.12

<企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス>